



JREU TOKYO 業務部速報



2025.9.02 No.006

発行：JR東労組東京地本 業務部

「労働協約・協定に関わる品川駅みどりの窓口」 に関する緊急申し入れの団体交渉を行う！

(組合) 社長会見にてみどりの窓口縮減を一旦凍結すると記者会見で述べていることに踏まえても、今回の品川駅の削減は会見内容と逆行していると認識していることから、会社としての見解を具体的に示すこと。

(会社) 現時点では、首都圏本部として、みどりの窓口閉鎖を一旦見合わせる方針は変わらない。ただし、品川駅における窓口数縮小は、お客さまのご利用状況等を踏まえた判断であり、認識の相違はないと考えている。

(組合) 平成19年3月22日付の「NF2008における今後の駅のあり方について」の議事録確認については、「締切時間や始終業時間の変更など作業ダイヤを精査した中で、特に混雑する時間帯に合わせて、7窓フルオープンできる体制を確保していく。」の一文についてのみを2025年東地申第2号「労働協約・協定に関わる品川駅みどりの窓口」に関する緊急申し入れの団体交渉に基づいたものへと変更すること。

(会社) 平成19年3月22日付の「NF2008における今後の駅のあり方について」の議事録確認は維持するが、該当の一文を以下のとおり変更する。「締切時間や始終業時間の変更、作業ダイヤの精査及びお客さまのご利用状況等に応じて、5窓をオープンできる体制を確保する。引き続き、状況に応じた適切な体制を構築していく。」

※改良工事での騒音対策をホテル泊等で、対応することを確認！

※みどりの窓口が5窓に削減されるも、

現時点での4徹6日体制の維持を確認！

※労働協約を本体だけでなくグループ会社まで徹底し、

その都度、把握していくことを確認！

JR 東労組が結成から積み上げてきた、数えきれないほどの

労働協約と議論経過がなければ職場は守れない！

JR 東労組に結集し、健全な企業づくりに向けてたたかおう！